

青森市匠の職人（令和二年度受賞）

菊池 きくち

世五 せいご（タイル張工）

完璧を追求、絶対に妥協しない



主な受賞歴

'19年 第30回技能グランプリ
タイル張り職種 金賞

問い合わせ先

株式会社木村タイル工業
〒030-0811
青森市青柳二丁目6番24号
TEL 017-764-6301



技能グランプリ
優勝時の作品



取材レポート

菊池さんは17歳の頃、タイル張工だったお父さんの影響で、自身も同じ職人の道に足を踏み入れました。

見習いの頃は、ひたすらモルタルを練ったり、重い資材を運搬したりときつい雑用に明け暮れ、とても辛かったそうです。しかし、5年ほど経ち、少しずつ仕事を任されるようになってとタイル職人の楽しさに目覚めます。

建設関係の業種では、自身が作業した部分が建物の完成後には見えなくなってしまうことが多いですが、タイル職人が張ったタイルはずっと人の目に触れ続けます。それがタイル職人の魅力だと言います。

しかし同時に、失敗した場合もずっと残ってしまうということもあるため、「難しいところでもあるそう。そこで菊池さんは、絶対に妥協しないこと」をモットーとしており、全ての現場を「自分の大事な家族が住む家」だと思い、誠心誠意仕事をしているとのことでした。

そうした日々の積み重ねの中で磨き上げられた技能は、平成31年に技能者の全国大会である技能グランプリにおいて、県内初となるタイル張り職種での金賞を受賞するなど、高い評価を受けています。

現在では、その高い技能を活かし、ものづくりマイスターの一人として青森工業高等学校の生徒たちに技術指導を行うなど、後進育成にも尽力しています。

そんな菊池さんに今後の目標を伺うと、さらに技術を磨き、やがては左官業などの他業種にも挑戦していきたいと考えているとのこと。日本の技能と評価された後も、匠の研鑽は終わることがないようです。